



特集1 ホームステイ・ホームビジット 受入体験談	P 2
特集2 情報公開	P 3
事業報告 情報・図書ボランティア研修会 ほか	P 4
私、岡山に住んでいます ホテルマン ターパ・ゴダル・ウパカルさん(ネパール)	P 7
世界の文化 ～朝ごはん編～	P 8
Think Global, Act Local ～県内国際団体のご紹介～ 特定非営利活動法人 歯科ネットワーク	P 8
お知らせ 海外技術研修員到着 ほか	P 9
イベントカレンダー 地球市民講座 第1回 ほか	P 9 10

おかやま 国際交流



質問に答える
ベイトルーリンさん(左)とコールさん(右)

「留学生と県民との交流会 –イギリス編–」

講師：岡山大学留学生 コール・ジョセフさん、ベイトルーリン・クレアさん

6月18日(土)

イギリス出身留学生と37名の参加者が集い交流会を開催しました。イギリス概要の紹介では、留学生がイングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドの各地域について詳しく話しました。また、ベイトルーリンさんは観光客にはあまりなじみのない各地のおすすめの場所を、コールさんはイギリスのコメディについて、アメリカや日本のコメディとの比較や有名な動画を通して伝えました。

イギリスのパブで親しまれているパブクイズを行い、交流タイムでは参加者が会話を自由に楽しみました。

国の基礎知識から、紅茶の飲み方や地域の祭りといった出身者ならではの情報まで幅広い話があり、参加者からは「イギリスの歴史や国の構成、城や神話などを知ることができてよかった」「スカイ島やイギリスで一番小さい家といったおすすめの場所や、イギリスのユーモアの紹介があり、とても新鮮な印象を受けた」などの感想を聞くことができました。

自宅で国際交流♪ ホームステイ・ホームビジット受入体験談

ホームステイ

近重 邦夫・定江さん 平成28年5月21日～23日(2泊3日)
マークス・ヴィマーさん(ドイツ青少年指導者)受入

初日は、食卓を囲んでお互いの家族のことを話しながら自宅でゆっくり過ごし、2日目は、岡山城観光や後樂園を散策しました。帰宅後、マークスさんが「日本流のお風呂を体験してみたい」というので、湯船にたっぷりお湯を張り、準備。マークスさんは、入った途端にお湯が津波のように溢れかえってビックリしたそうです。(ちなみに、マークスさんの体重120Kg!)「湯船に浸かる日本流のお風呂は、全身の疲れがとれることが分かった」と感心していました。

最終日、10年以上前に娘が弾いていたピアノをマークスさんが演奏して、ドイツ民謡を合唱。ドイツの方と歌うことができて、感無量でした。半世紀以上も前のことですが、ラジオに流れていたドイツ民謡に魅了されて以来、美しいメロディー、明るいリズムを持つドイツ民謡の虜になりました。今回思いがけず、ドイツ民謡に造詣が深いマークスさんをホームステイに受け入れ、共にドイツ民謡に浸ることができたのは望外の喜びで、私共の生涯の思い出になりました。



外出先でマークスさん(中央)と記念撮影



マークスさんの伴奏でドイツ民謡を♪



自宅の庭で記念撮影
(前列右から馮さん、張さん、二嶋さん)

二嶋 愛さん 平成27年11月14日
張 瀾さん、馮 麗さん(中国人留学生)受入

張さんと馮さんを自宅に招き、一緒にお好み焼きを作ってランチパーティーをしました。二人はお好み焼きを作るのは初めてだったそうで、作り方を伝授し、日本と中国の食生活や文化の違いについて話しながら昼食を楽しみました。

その後、着物を着付けてあげると、スマートフォンを持ち、畳の上や庭でポーズを決め撮影大会に! 日本文化に関心が高く、とても喜んでくれたので私も嬉しかったです。お昼の短いひとときでしたが、普段とは違った時間を過ごすことができました。これからも身近にできる国際交流を楽しんでいきたいと思えます。

ホームビジット

ホストファミリー募集!

日本の家庭や暮らしを体験したい留学生や外国人のために、受入家庭(ホストファミリー)を募集しています。ホームステイ(宿泊)やホームビジット(2～3時間の訪問)で異文化交流を楽しんでみませんか?

●受入家庭になるには?

当協会「ホームステイ・ホームビジット受入家庭」ボランティアへの登録が必要です。

登録条件

- (1)岡山県内に在住 (2)同居している家族がいること
- (3)家族全員の受入への同意が必要
- (4)指定の場所(岡山国際交流センター等)まで送迎が可能なこと

登録方法

「ボランティア登録申請書(ホームステイ・ホームビジット)」(ホームページからダウンロードできます)を当協会にご提出ください。適当と認められた場合に登録を行います。



●問合せ 企画情報課まで TEL:086-256-2914 FAX:086-256-2489 E-mail:info@opief.or.jp

平成27年度収支計算書 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

総括表

〔Ⅰ〕 事業活動収支の部

(単位：円)

科目	合計	一般会計	特別会計
基本財産運用収入	18,535,783	18,535,783	0
特定資産運用収入	153,128	153,128	0
会費収入	1,594,000	1,594,000	0
事業収入	1,679,597	500,000	1,179,597
負担金収入	1,458,426	150,000	1,308,426
補助金収入	315,608	0	315,608
受託事業収入	49,663,335	7,491,335	42,172,000
利用料金収入	95,798,135	0	95,798,135
雑収入	7,775,195	3,746,261	4,028,934
他会計繰入金収入	9,000,000	9,000,000	0
事業活動収入計	185,973,207	41,170,507	144,802,700
事業費支出	150,933,461	14,547,271	136,386,190
管理費支出	16,028,393	16,028,393	0
他会計繰入金支出	9,000,000	0	9,000,000
その他の支出	71,000	0	71,000
事業活動支出計	176,032,854	30,575,664	145,457,190
事業活動収支差額	9,940,353	10,594,843	△ 654,490

〔Ⅱ〕 投資活動収支の部

(単位：円)

科目	合計	一般会計	特別会計
基本財産取崩収入	500,000,000	500,000,000	0
特定資産取崩収入	59,828,965	59,828,965	0
建物付属設備売却収入	0	0	0
投資活動収入計	559,828,965	559,828,965	0
基本財産取得支出	500,000,000	500,000,000	0
特定資産取得支出	55,597,865	55,597,865	0
建物付属設備取得支出	0	0	0
投資活動支出計	555,597,865	555,597,865	0
投資活動収支差額	4,231,100	4,231,100	0

〔Ⅲ〕 財務活動収支の部

(単位：円)

科目	合計	一般会計	特別会計
財務活動収入	0	0	0
財務活動支出	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0

〔Ⅳ〕 予備費支出

(単位：円)

科目	合計	一般会計	特別会計
当期収支差額	14,171,453	14,825,943	△ 654,490
前期繰越収支差額	33,596,707	3,358,620	30,238,087
次期繰越収支差額	47,768,160	18,184,563	29,583,597

一般財団法人岡山県国際交流協会 評議員名簿

平成28年5月30日現在

役職名	氏名	職名
評議員	青山 肇	株式会社 中国銀行 代表取締役専務
〃	沖垣 達	重井医学研究所名誉所長
〃	金森 満 廣	一般社団法人 岡山経済同友会事務局長
〃	窪津 誠	岡山商工会議所専務理事
〃	鈴木 弘 治	岡山県市長会事務局長
〃	高宮 純 一	日本貿易振興機構 (ジェトロ) 岡山貿易情報センター所長
〃	辻 英 明	公立大学法人 岡山県立大学学長
〃	中島 博	岡山県経済団体連絡協議会座長
〃	松尾 茂 樹	岡山県県民生活部長
〃	山本 哲之進	岡山県町村会事務局長

(五十音順)

一般財団法人岡山県国際交流協会 役員名簿

平成28年6月10日現在

役職名	氏名	職名
代表理事	末長 範 彦	岡山県経営者協会会長
業務執行理事	肥塚 秀 文	一般財団法人 岡山県国際交流協会事務局長
理事	浦上 典 江	岡山日本語センター 理事長
〃	大倉 美 恵	一般社団法人 大学女性協会岡山支部支部長
〃	大月 史 嗣	学校法人加計学園 学園国際交流局国際室長
〃	近藤 英 生	津山国際交流の会事務局長
〃	鈴木 剛 史	公設国際貢献大学校施設長
〃	竹田 義 宣	岡山県教育庁高校教育課長
〃	田中 哲 也	岡山市市民協働局国際課長
〃	堤 博 子	国際ゾンタ 26 地区岡山ゾンタクラブ理事
〃	中原 聡 子	国際ソロプチスト岡山会長
〃	信江 幸 雄	岡山県県民生活部国際課長
〃	橋本 信 子	岡山大学・岡山理科大学非常勤講師
〃	原田 美 樹	岡山大学グローバル・パートナーズ事務局 国際企画課長
〃	松畑 照 一	学校法人中国学園中国学園大学・中国短期大学学長
〃	森 健太郎	学校法人森教育学園副理事長
監事	上田 英 夫	一般社団法人 日本旅行業協会中四国支部岡山地区委員会委員長
〃	吉岡 誠	岡山青年国際交流会顧問

(五十音順)

情報・図書ボランティア研修会

4月19日(火)

はじめに当協会肥塚 秀文事務局長が、どの事業もボランティアの協力により成り立っていると日頃の感謝の言葉を述べ、今年度は情報相談コーナー4名、図書資料室2名の新しいボランティアの方が加わり、さらなる活動を期待しているとのあいさつがありました。参加者8名は、自身の活動歴などを交えた自己紹介を終えた後、協会の基礎知識、新規事業を含めた国際交流・国際理解イベント、相談事業などの確認をしました。

次に情報・図書のボランティアに分かれ、活動内容の再確認、より効率の良い作業方法について話し合いをしました。先輩ボランティアの方々からの経験談や日頃の活動の中で感じていることは、新人ボランティアにとって、とても役に

立つものとなり、ボランティア同士の交流も兼ねた有意義な研修会となりました。



研修会の様子

おかやまフェアトレードー!

5月21日(土)

シネトーク講師：胤森 なお子氏 (ピープル・ツリー ディレクター)

ワークショップ ファシリテーター：横山 明子氏 (岡山県 JICA デスク)

共催：JICA 中国

今年、岡山国際交流センターと奉還町商店街内の施設「奉還町りぶら」の2会場で、誰でも参加できる国際協力「フェアトレード」に広く親んでもらうための多彩なイベントを実施しました。

岡山国際交流センターでは、映画「The True Cost ～ファストファッション真の代償～」を上映し、その後のシネトークでは、講師による映画の補足説明やフェアトレードについての解説のほか、会場との意見交換を行いました。また、岡山県 JICA デスクによるワークショップ「コーヒーカップの向こう側」では、身近な



シネトーク講師の胤森 なお子氏

コーヒーをテーマにしたクイズに挑戦したり、架空のコーヒー農園を舞台にしたロールプレイを通じて、コーヒー生産農家の立場を疑似体験し、良い貿易とは何かを考えたりしました。



ワークショップ講師の横山 明子氏

奉還町りぶらでは、「岡山フェアトレードの会」の協力により、美味しいコーヒーのいれ方を学ぶワークショップや、リサイクル紙鉛筆を作るワークショップ、ネパールの民族音楽のミニライブなどのイベントのほか、フェアトレード商品の展示販売や様々な団体の活動紹介などを開催しました。4月に起こった熊本地震やエクアドル地震の被災者支援の呼びかけも行いました。

また、イベントとして「フェアトレード・カフェマップ」や、岡山国際交流センターロビーでの東ティモールの写真パネルや全国のフェアトレード団体の資料の展示も実施しました。



ワークショップ風景



奉還町りぶら入口風景

地域共生サポーター養成講座

6月25日(土)

講師：一般財団法人自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー 豊島 行宏氏

県内で生活する外国人住民のコミュニケーションや生活面の支援に関心のある県民と、岡山県に登録している地域共生サポーター42名を対象に開講しました。

元名古屋国際センター事務局長豊島 行宏氏から、「あなたのお隣に外国の方がいらっしゃったなら」と題して、地域の国際化の動きと多文化共生のあらまし、日本で暮らす外国

人の現状と傾向、直面する問題、多文化共生社会に向けて大切なことなどについて、サポーターの役割と結び付けて話がありました。「人それぞれ個性が違う」「外国人という先入観を持たず、広範な考えで『共に生きる』社会づくりを考えて活動を続けていくことが必要」だと学びました。

後半では、グループに分かれて、在住外国人が困っていることや、どうやって外国人の生活を支援していくか、またサポーターとしての活動のあり方について考えたり、他の地域での支援方法などを紹介したりと様々な課題について真剣に話し合いました。話し合いの中で、参加者自身の経験に基づいた意見や提案がたくさんあり、多くの情報やアイデアを共有できました。

参加者からは「グループワークを通して、様々な見方や考え方を学ぶことができた」「外国人と日本人が同じ『人』として共生するのが大事であることが分かった。地域の外国人に積極的に話しかけて、支援ではなく友達になることが多文化共生の始まりだと思った」などの感想がありました。



参加者による意見交換

子ども日本語学習サポーター研修会

7月3日(日)・16日(土)

第2回講師：山陽学園大学 総合人間学部 教授 山根 智恵氏

外国人児童・生徒の日本語学習支援ボランティアの養成及び子ども日本語学習サポーターのスキルアップのための研修会を開催しました。

第1回は、校長や日本語指導に携わっている教員や外国にルーツをもち日本の学校に通っていた方から、外国人児童・生徒の受入の現状や支援方法、教材紹介、日本語支援を受けてよかったこと、これから支援をする方に対する要望やアドバイスなどについて発表がありました。日本語が分からないだけでなく、文化の違いなどでも苦労している外国人児童・生徒にとって、学校からの支援やサポーターからの支援は心の支えになることを知りました。



第1回の様子

第2回は、県内の外国人児童・生徒への日本語学習支援の状況や日本語支援のために必要な基礎知識などについて講義を受けました。その他、歌を歌ったり、身体を動かしながら日本語を覚えさせたり、カードを使ったりする指導方法を学びました。



山根 智恵氏による講義の様子

参加者は、外国人児童・生徒に日本語学習支援を行うことの難しさを感じながらも日本語学習支援の重要性を学んだ研修会になりました。研修会修了後には、両日出席した14名に修了証書が授与され、その中からボランティアとして活動できる方が当協会の「子ども日本語学習サポーター」に登録をしました。

「岡山のCOOL 発見!」第1回 ～岡山の路面電車で街歩き～ 7月10日(日)

司会：医学研究者 沖垣 達さん、中国短期大学 保育学科 教授 角田 みどりさん
出演：岸本 ロベルさん（フィリピン）、サルティニ・レアンドロさん（アルゼンチン）
西川 ナタリヤさん（ロシア）、フェレー・プジョル・ピラーさん（スペイン）
プリチャード・ケイレブさん（アメリカ）、ワリ・デヴィッドさん（パプアニューギニア）



こちらのQRコードを
読み取り、動画を
ご覧ください。

出演外国人の皆さんが二人一組で、事前に路面電車に乗って岡山市内の街を歩き、そこで発見した岡山のCOOLを写真とともに紹介しました。

はじめに、街歩きの様子をまとめたビデオを見た後、出演者が一人ずつ岡山のCOOLについて語りました。プリチャードさんは「昭和の伝統的な建物とモダンな建物が街中にミックスされているところがCOOL」と述べ、「晴れの国」なのに商

店街が暗い、街に緑が少ないなど、街づくりについて問題提起をしました。続く西川さんのCOOLは、街歩きで立ち寄った和菓子屋のまんじゅう。防腐剤を使用していないところがCOOLと話しました。岸本さんは、旧岡山藩藩学がCOOL。「案内板を作成するなど、多くの人にもっと岡山の歴史ある場所を知らせては」と提案しました。

歴史が好きなワリさんは、金刀比羅神社の手水舎にある龍の姿がCOOL。岡山空襲で焼け残った石塔なども印象的とのことでした。フェレーさんのCOOLは、油掛大黒天。大黒様に油をかけるというのに、とても驚いたと話しました。サルティニさんのCOOLは旭川の野鳥や、ジュエリー工房で製作されていた動物をモチーフにしたジュエリーなど、街中で見つけた動植物でした。

訪問先の方々や街づくりに取り組む団体からも話を聞き、120名の参加者は、日頃気付かない街の良さを知る機会となりました。



イベントの様子



街歩きで立ち寄った書店にて

英語による絵本の読み聞かせ研修会

7月24日(日)

講師：放送大学岡山学習センター 客員准教授 服部 美佳氏

英語による絵本の読み聞かせに興味を持つ地域の方々25名が参加し、読み聞かせの意義をはじめ、読み手の心構えや効果的なスキルなどについて学びました。様々な事例がたくさん紹介され、参加者がこれまでに実際に体験した読み聞かせの反省と今後の課題について知る機会となりました。

感情を込めて読むことで、子どもたちの想像力が増すという実際の効果を科学的に説明した興味深い内容と、説得力のある講師の話に参加者たちは深く共感しました。「読み聞かせでは、大人が心を込めて子どもたちに伝えること、そして生身の交流が何より大切という言葉に共感した」という意見が寄せられました。

グループ練習の時には、参加者全員がそれぞれ個性豊かな読み聞かせを発表しました。和やかな雰囲気で行われ、初心者でも気軽に発表できるよう、講師の温かみのある配慮がとても印象的でした。

初めての参加者にとっては、地域

で読み聞かせの活動をしているベテラン参加者の話を聞く機会になり、既に活動している参加者にとっても、様々な意見を交わしてお互いに刺激を受ける良い時間となりました。



講師の服部 美佳氏



発表の様子

「私、岡山に住んでいます」 岡山で活躍する外国人をご紹介します

6年前に来岡、スマートな身のこなしで美しい敬語を操るウパカルさんが、母国ネパールへの熱い思いを語りました。

—出身地ポカラについて

ネパールは、約80%がヒンドゥー教で、牛は神様の乗り物とされています。また、96の言語があり、様々な民族がいます。私の出身地ポカラには、山の近くに住み登山者のために荷物を運んだりお手伝いをしたりするシェルパ族がいます。いろいろな宗教や民族が混ざっていますが、祭りになると皆が一つになります。

ポカラは、周りが山に囲まれた7つの湖があって、景色がきれいな所です。カトマンズに続き2番目に大きな都市で、パラグライダーやラフティングが有名です。



ポカラの風景

—岡山に来たきっかけ

飛び級で高校を卒業し、17歳で母校の大学に通いました。大学で日本について学ぶたびに、日本への憧れが膨らんでいきました。私の夢を叶えるために、中学校の校長をしている父親が奔走してくれました。自分が叶えることのできなかった夢を私に託してくれたのです。そして、憧れの日本で学べることになったのです。

—「確かに生きる」

この言葉は、私の恩人であるアルピニスト 野口 健さんの本のタイトルです。夢と希望を胸に岡山に来た私は、すぐに打ちひしがれました。信用していた仲介人に次々とお金をとられ、授業料はもちろん食べていくお金も底をつきました。飲まず食わずで日本へ送り出してくれた両親には



野口 健さんの主宰する富士山の清掃活動に毎年参加

ネパールと日本の架け橋になりたい

ホテルマン

ターパ・ゴダル・ウパカルさん

Thapa Godar Upakar

ネパール ポカラ出身



心配をかけられません。死に物狂いで日本語を勉強し、学校以外の時間は寝ずに働きました。何度も倒れました。もう死んでしまおうと思うと涙が止まらなくなりました。そんなとき、野口 健さんの本に出会い夢中で読みました。立ち上がってやる。この岡山で必要とされる人間になってやる。そして、ネパールと岡山の架け橋になることを心に誓ったのです。

—私のミッション

大学を卒業するまでは、大変な苦労がありました。私を支えてくれた大学の先生をはじめ、地元の人たちの優しさに感謝の気持ちでいっぱいです。

今は第二の故郷である岡山を日本中、世界中の人たちに好きになってもらいたいと、ホテルのフロントで通訳としてがんば



初めてのダイビングに挑戦するウパカルさん(左)

っています。いろいろな国からお客様が来られるので、休日は県内を歩き回り、連休には国内を旅して勉強しています。この日本の素晴らしいを、教科書さえ満足に読むことのできないネパールの子もたちにも伝えたのです。海のないネパールの子もたちに、海の大きさやしよっぱさを伝えたい。先日は思いきって、初めて海に潜り

ました。こうして一日一日を大切に確かに生きたい。

恩人の野口 健さんの働きかけで、ネパールのエベレストと日本の富士山は姉妹山になりました。野口さんの大親友だった故橋本 龍太郎さんは、ネパールの子もたちのために施設をつくってくれました。岡山とは強いつながりを感じずにはいられないのです。



ネパールの子もたちにノートを配布

～朝ごはん編～

一日の始まりの活力となる朝ごはん。
世界では、どんな朝ごはんが食べられているのでしょうか？

イタリア



パスクアリーニ・マリオさん
(マルケ州出身)
イタリア語講師／滞在歴：2年5ヶ月

朝、同じくらいの時間に起床して、家族全員でテーブルを囲むのがイタリア流。一日の食事の中で最も大切にしている、カロリーも一日の半分を朝食でとります。いつも家族の中心であるマンマ(お母さん)が作る朝食は、ビスケットに、手作りケーキ「クロスタータ」、ヨーグルトやカフェラテなど、とても甘いものばかり。クワッサンをカフェラテに浸して食べる「プッチャーレ」でやわらかくなったパンを楽しみます。サラリーマンの中には、出勤前に同僚と2回目の朝食をとる人もいます。

一年に2回、特別な朝食もあります。クリスマスの朝は一年の中でも最もあま〜い朝です。イエスの誕生を祝う朝は、パネトーネ、パンドロ、トロネなどのケーキや、干した果物「アルビコッケ・セッケ」やココア、コーヒーなどを囲みます。

イースターの朝はイエスの復活を祝います。クリスマスとは対照的に「コラッツィオーネバスクエレ」というしょっぱい朝食です。メニューはソーセージや生ハム、甘くないチーズケーキやワインなど。

イタリアの朝ごはんは家族団らんの大切な時間です。



©2016 Valerio Carradori

イタリアの朝ごはん

フィリピン



ポルティリオ・エンピーさん
(ブラカン州出身)
英語教師／滞在歴：3年

フィリピンにもいわゆる「パン派」と「ご飯派」がいます。

パン派の朝ごはんの定番は、新聞を片手に飲むコーヒーと、出来立て熱々の「パンデサル」です。パンデサルは、スペイン生まれの甘いパンです。私の家では、父が朝のジョギングついでに、パン屋に寄って新聞と一緒に買ってきていました。コミュニティには必ず1つはパン屋があり、パンデサルを売っています。朝早くから出掛け、6時台から体を動かす人が多く、そのついでにパンを買うのがフィリピンの朝の風景です。

ご飯派の朝ごはんは、料理の組合せによって呼び方が違います。必ず卵(シー)(スクランブルエッグや目玉焼きなど)とライス(ログ)がついていて、プラス一品によって、朝食のセットメニューの呼び方が変わるといいます。例えば、牛肉(タップ)がメインで、卵とライスの組み合わせの朝食は「タップ・シー・ログ」と呼びます。

フィリピンの朝食は種類が豊富なので、飽きることがありません。



焼き立てのパンデサル(右)

新聞を片手に朝食をとるポルティリオさん

Think Global, Act Local 県内国際団体のご紹介

DNOW(ディーナウ): Dentist Network from Okayama to the World
特定非営利活動法人 **歯科ネットワーク**
-岡山から世界へ-



団体概要

わたしたちは、岡山発歯科ボランティアNGOです。経済的な理由や社会的理由により学校にも通えず、困難な生活を余儀なくされている途上国の子どもたちへ歯科を通じた自立支援を行っています。具体的には、フリークリニック(検診・治療)とTBI(Tooth Brushing Instruction)を含めた予防歯科啓発プログラムを、同一場所で、定期的に開催しています。

電話番号 (0869)24-7033(事務局直通)
メール main-info@dnw.or.jp
ホームページ <http://www.dnow.or.jp/>

以下のQRコードから
問合せができます。



活動紹介

◆フィリピン事業

かつてのスモーキーマウンテンの麓、マニラ市トンド地区にある早期教育施設、Self Reliance Konkokyo Centerにて3歳～5歳児を対象に年2回活動を行っています。

本事業は(特活)金光教平和活動センターとの協働で実施されています。

◆ベトナム事業

現地のストリートチルドレン保護施設、ストリートチルドレン友の会(FFSC)ピンチュウ能力開発センター(ホーチミン市)にて5歳～14歳の児童・生徒を対象に年2回活動を行っています。



ベトナムでのブラッシング指導の様子



フィリピンの施設での治療の様子



歯科染色剤で歯の汚れを染め出したら真っ赤に…



海外技術研修員到着

協会では、岡山県が受け入れる海外技術研修員の岡山滞在中の生活を支援しています。

今年度は、ブラジルから神津ダニエラ明娜さんと富永カリナさゆりさんの2名が6月8日に、ミャンマーからテ・テ・スエさんが7月15日に来岡しました。3名はそれぞれ、工業デザイン、品質管理・物流プロセス、医療(乳腺外科)の専門研修を9月下旬まで受講します。

8月下旬には、ネパールと中国の研修員が加わり、全部で5名の研修員がそれぞれ3か月から4か月間の研修生活を送ります。ネパールと中国の研修員は、それぞれ医療(内科)と人的資源管理について研修します。



富永カリナさゆりさん(左)と神津ダニエラ明娜さん(右)



テ・テ・スエさん

ベトナム語の生活相談開始及びホームページへのベトナム語翻訳追加のお知らせ

岡山県国際交流協会では、在住外国人が安心して暮らせるよう、多言語に対応した生活関連情報の紹介等を行っています。近年、岡山県で在住ベトナム人が増加していることから、このたび、ベトナム語相談員による生活相談を開始するとともに、当協会ホームページにベトナム語の自動翻訳機能を導入しました。

ベトナム語相談

毎月第1・第3土曜日 13:00~17:00
岡山国際交流センター 1階 情報相談コーナーにて実施

岡山県国際交流協会ホームページ

URL: <http://www.opief.or.jp>

※トップページにある「Tiếng Việt」(ベトナム語)のボタンを押すと、当協会のすべてのページがベトナム語に切り替わります。

イベントカレンダー

※都合により、内容が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

EVENT CALENDAR

9月

25日(日) 地球市民講座 第1回

平成28年3月、ベルギーで起きた爆弾テロ。昔から移民を受け入れてきたベルギーの歴史的背景から現状に触れ、多文化共生について考えます。

- とき 9月25日(日) 13:30~15:00
- ところ 岡山国際交流センター 2階 国際会議場
- テーマ 「~日白友好150周年~
移民の国ベルギー!多文化共生への道のり」
- 講師 岩本 和子氏
(神戸大学大学院 国際文化学研究所 教授)
- 参加費 無料 ●定員 80名程度(要申込み)
- 申込み 情報班まで

10月

8日(土) 国際貢献・協力セミナー

県民の国際貢献に対する理解を深め、国際貢献活動への参加を促進するために、主として海外で活動しているNGO団体の活動報告会、講師による講演会、ワークショップ等を行います。

- とき 10月8日(土) 13:00~16:00
- ところ 岡山国際交流センター 7階 多目的ホール
- 対象 NGO団体、一般県民
- 参加費 無料
- 定員 30名(要申込み)
- 申込み 情報班まで

10月

2日(日) 英語で話そう ~英語で岡山寺社巡り~

外国人講師の案内で、岡山市内の寺社を巡ります。参拝のマナーを英語で楽しく学びます。午後からは、交流パーティーで外国人講師の母国の話を聞きながら、親交を深めましょう。

- とき 10月2日(日) 10:00~15:00
- ところ 寺社巡り:岡山市内、路面電車電停柳川付近
交流パーティー:岡山国際センター 地階
レセプションホール
- 対象 簡単な日常英会話ができる方
- 参加費 協会会員、県内在住外国人、高校生以下 無料
一般 2,000円 ※寺社巡りの際の路面電車代(200円程度)は自己負担
- 定員 寺社巡り 30名、交流パーティー 60名
(要申込み、定員に達し次第、締切)
- 申込み 情報班まで

23日(日) 岡山を知ろう交流バスツアー

県内在住外国人と日本人の参加を募り、貸切バスで県内の旧跡・観光地を巡るとともに、日本文化を体験します。

- とき 10月23日(日)
- 対象 一般県民及び県内在住外国人
- 行程 瀬戸内海遊覧、鷺羽山下電ホテル、旧野崎家住宅、児島ジーンズストリート
- 参加費 協会会員、外国人 1,000円
一般(日本人) 3,000円、小学生 800円
※昼食代含む
- 定員 一般県民14名、県内在住外国人38名(要申込み)
- その他 今年初めての参加者を優先とします。
- 申込み 情報班まで(9月下旬受付開始予定)

会員募集

一般財団法人岡山県国際交流協会では会員を募集しています。

☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業への参加費割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 入会時に記念品をプレゼント

☆年会費

個人会員: 2,000円 団体会員: 10,000円
賛助会員: 30,000円

☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00~17:30(月~土曜日)

E-mail:kokusai@opief.or.jp



11月

3日(木・祝)「岡山のCOOL 発見!」第2回 ～岡山の路面電車で街歩き Part2～

様々な国出身の県内在住外国人4名が、岡山の街を歩いて発見したCOOL(魅力)を語り合います。

- とき 11月3日(木・祝) 13:30～15:00
- ところ 岡山国際交流センター 1階 ロビー
- 対象 一般県民
- 参加費 無料(入退場自由)
- 共催 一般社団法人大学女性協会岡山支部
- 申込み 不要
- 問合せ 企画班まで

5日(土) 日本語ボランティアスキルアップ研修会

県内在住外国人の日本語学習の機会の充実を図るため、県内の日本語学習指導の経験がある方を対象に研修会を開催します。

- とき 11月5日(土) 13:00～16:00
- ところ 岡山国際交流センター 5階 会議室(1)
- 対象 日本語学習指導の経験のある方等
- 定員 30名程度(要申込み)
- 申込み 情報班まで(10月上旬受付開始)

20日(日) 英語による絵本読み聞かせ会(特別編) ～英語でお友だち作ろう!!～

英語・日本語による読み聞かせや講師の母国の話を聞くコーナーなど、様々な国に触れ合いながら英語が楽しめます。軽食を食べながらお話しする交流会もあります。

- とき 11月20日(日) 11:00～13:00
- ところ 岡山国際交流センター 地階 レセプションホール
- 講師 県内在住外国人
- 対象 県内在住外国人及び日本人の子ども(3歳～小学6年生)とその保護者等
※子どものみの参加は不可
- 参加費 協会会員(新規会員含む)・外国人・小学生以下 無料
一般 2,000円
- 定員 60名(要申込み)
- 問合せ 情報班まで

21日(月)～26日(土) 海外マガジン無料配布

2014年度配架の海外マガジンを無料でお配りいたします。

- とき 11月21日(月)～26日(土) 10:00～19:00
- ところ 岡山国際交流センター 4階 図書資料室
- 配布マガジ TIME、NATIONAL GEOGRAPHIC、saopaulo、読者、人民中国ほか
- 注意 海外マガジンは一人一日5冊まで。譲り受けたマガジンの売却はできません。また、個人の読書・学習以外の目的に利用することはできません。
- 問合せ 情報班まで

12月

7日(水) 地球市民講座－特別編－

12月4日～10日の人権週間にあわせ、世界の人権に関する映画の上映会を開催します。

- とき 12月7日(水) 18:30～20:00(予定)
- 上映作品 「それでも僕は帰る～シリア 若者たちが求め続けたふるさと～」(予定)
- ところ 岡山国際交流センター 2階 国際会議場
- 参加費 無料
- 定員 100名(要申込み)
- 問合せ 情報班まで(10月下旬受付開始予定)

10日(土) 話してみよう韓国語－岡山大会－

高校生、一般部門参加者募集!! 台本に沿ってペアで演じる新しいスピーチコンテストです。初心者でも気軽に参加できます。家族や友人と一緒に挑戦してみませんか?

- とき 12月10日(土) 13:00～18:00
- ところ 岡山国際交流センター 2階 国際会議場
- 募集部門 1. 指定スキット部門 高校生部門:10組20名
一般部門:10組20名
定員 2. スピーチ部門 一般部門:5名
- 参加費 無料
- 応募方法 1次審査のため、応募書類を直接持参または郵送ください。応募書類はホームページからダウンロードできます。1次審査後、合格者にお知らせします。
- その他 どなたでもご参加いただける韓国文化公演(無料映画上映会)もあります。
- 申込み 情報班まで

11日(日) 英語による絵本の読み聞かせ会④

様々な国に触れ合いながら英語が楽しめる読み聞かせ会です。

- とき 12月11日(日) 11:00～11:30
- ところ 岡山国際交流センター 4階 図書資料室
- 講師 県内在住外国人
- 受講料 無料
- 対象 県内在住外国人及び日本人の子ども(3歳～小学6年生)とその保護者等
- 申込み 不要
- 問合せ 情報班まで

18日(日) 留学生と県民との交流会－特別編－

県内在住の様々な国出身の留学生が講師となり、文化や習慣などの紹介をします。特別編は講師を10名程度お呼びし開催します。

- とき 12月18日(日) 10:30～14:30(予定)
- ところ 岡山国際交流センター 地階 レセプションホール(予定)
- 参加費 協会会員・外国人:無料、一般:2,000円
- 定員 60名(要申込み)
- 申込み 情報班まで(11月中旬受付開始予定)

問合せ

一般財団法人 岡山県国際交流協会

企画情報課 情報班・企画班

☎086-256-2914 (月～土 9:00～17:00)

総務課 ☎086-256-2000 (月～土 9:00～17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905 (9:00～18:00)

[休館日] 12月29日～1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1

岡山国際交流センター内

一般財団法人 岡山県国際交流協会

☎086-256-2000(月～土 9:00～17:30)

☎086-256-2226

ホームページ: <http://www.opief.or.jp>

E-mail: kokusai@opief.or.jp